

第46回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事メモ

日 時：令和2年8月11日(火) 16:15~16:50

場 所：県庁6階 第1・第2特別会議室

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、
金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、
宮沢 県警本部長、名渡山 子ども生活福祉部長、大城 保健医療部長、長嶺 農林水産部長、
嘉数 商工労働部長、渡久地 文化観光スポーツ部長、上原 土木建築部長、
伊川 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、
系数 保健衛生統括監、真栄城 医療企画統括監

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から新規感染者発生情報、感染者の療養状況等について報告

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から米軍基地内の陽性者発生情報について報告

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について

- 総括情報部から警戒レベル判断指標の状況及び本県の「直近1週間の人口10万人あたり新規感染者数」の状況について報告

(4) 宿泊療養施設の運用状況について

- 総括情報部から那覇市内、八重山地区で運用している宿泊療養施設の利用状況等について報告。
 - ✓ 宮古地域における宿泊療養施設は8月12日から運用開始であると報告

(5) 沖縄県緊急事態宣言後の状況について

- 総括情報部から資料をもとに KDDI の Location Analyzer による人口滞在調査結果をもとに、県内の繁華街、商店街、空港等における人の動きについて状況を説明

3 議 題

(1) 警戒レベル判断指標の一部変更について

- 国が、感染レベルをステージⅠ～Ⅳに区分し、各ステージの移行を検知するための目安として指標を提示したことについて、総括情報部から説明。
- 総括情報部から、これまでの県が用いている判断指標に、国の指標も一部反映した形に変更したいと提案があった。これまで県が用いていた指標の一部を国指標に入れ替え、従来の県指標も参考指標として残していくこととする。

<主な意見>

- 宿泊療養施設の活用に関して、病院から軽症者を移すこと、入院調整中から入所させること、自宅療養から回すことについて、優先順位があるか質問があった。
 - ✓ 保健医療部から、各病院と入院調整中から軽症者がいれば移すことはあるが、自宅療養からは少ない旨説明があった。
- その他、数字や体裁に関する確認等があった。

(4) その他

- 総務部から、総括情報部へ先週7名の応援人員を送っていただき感謝している。さらに各部局にお願いする可能性もあると説明があった。また、業務継続計画に基づき、不要不急業務の見直し・延期について通知を発するので、各課で緊急性の低い業務は停止等の検討をお願いしたい旨コメントがあった。
- 文化観光スポーツ部から、本日の知事メッセージにおいて、空港での抗原検査

実施が可能となった件について、検疫所や観光庁など国の協力があって実現しているの、その旨もコメントとして入れることの提案があった。

- 商工労働部から、感染防止対策徹底宣言「シーサーステッカー」に790件の申請がある旨の進捗報告があった。
- 商工労働部から、職業能力開発校において感染者が確認されたことについて報告があった。

4 閉 会

医療がかなり逼迫している状況と、県の警戒レベル判断指標を見直す事等について、知事コメントとして発表することを確認し、閉会とした。